# 一力世界戦V

## 応氏杯世界選手権

一力が３連勝で、19年ぶりに日本勢の優勝を決めた。トロフィーを持ち「優勝を実感した」と語られた

第10回応氏杯世界選手権決勝五番勝負が8月12、14日に中国重慶「重慶尼依格羅酒店」、9月8日に上海「上海途易藍呉淞口邸輪港酒店」で行われ、日本の一力遼九段が中国の謝科九段に3連勝し、2005年LG杯で張栩九段が優勝していて以来、19年ぶりに日本勢が世界一となった。

なお、本戦1、2回戦は7月3、4日に上海「応氏大厦」、準決勝三番勝負は7月6日から8日に浙江省寧波「隠居慈城庭院公館」で行われた。全ての日程で、許家元九段が同行した。

### 悲願の世界戦優勝

日本囲碁界全体が待ち望んだ世界一の栄冠を持ち帰った一力。9月8日の対局直後のインタビューでは「勝ててほっとした気持ちと嬉しい気持ち。（棋戦全体を振り返って）どの碁も大変な内容で、特殊なルールによる時間との勝負もありました。全体的には今の力を出せたと思います」と振り返った。

許家元九段

決勝第3局で手応えを感じたのは、**総譜3**の201、203とツケの連打で上辺の白陣を突破できた局面だという。

### 対局情報

**持ち時間**　各3時間30分、使い切ると35分を2目コミ出しで追加（3回まで）

**規定**　応氏ルール、コミ8目（日本ルールの7目半に相当）、ジゴ黒勝ち

### 陰の立役者

今回、研究パートナー兼通訳で許九段が同行。今年の4月末頃に声がかかり、通訳などの仕事に興味があったことから引き受けたという。「初めての通訳で心配でしたが、一力さんがわかりやすく話してくれて助かりました」と語った。

研究パートナーとしての役割について「自分がよく行っていたことは、対戦相手ならどう打つか予測すること」という。例えば、決勝であれば謝九段が、局面毎に打ってくる可能性が高い手段を示すといった要領だ。

どこでポイントを取りにいくか、作戦を立てる。休息日は2、3時間は必ず行ったという。効果が顕著に表れたのは決勝第1局。前日に研究した形とほぼ同じ進行となった。

### 応氏杯との繋がり

一力が世界を意識したのは、当時11歳、応氏杯のジュニア大会で準優勝した時だという。「決勝の相手は中国の柯潔さんでした。また、前回の応氏杯では謝科さんにベスト4で敗れています。今回の応氏杯では両者へリベンジする気持ちで臨んでいた」と一力が大会への気持ちを語った。

最後に、19年ぶりの日本勢の世界戦優勝について「優勝できて感慨深い思いがある。これが他の棋士や若手に良い刺激になれば良いと思いますし、この機会に囲碁を始める方が少しでも増えてくれたら嬉しい」と語った。

サインを求められる一力

決勝第3局の対局風景

### 応氏杯世界選手権　決勝三番勝負

**第1局**　8月12日
△一力　○1目●　謝科
※黒番は1回35分追加

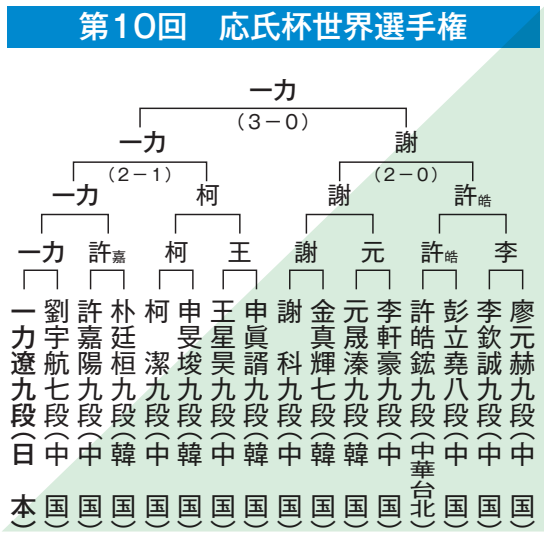
**第2局**　8月14日
一力　○9目●　△謝科
※白番は2回35分追加

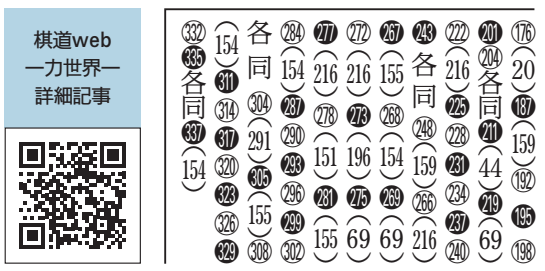
**第3局**　9月8日
△一力　○中押●　謝科
※黒番は2回、白番は1回35分を追加

**3勝0敗で一力が優勝**

――△印は先番

### 第10回　応氏杯世界選手権




棋道web
一力世界一
詳細記事

### 「囲碁であそぼ！」で始めてみよう

2024年、大躍進を遂げた日本碁界。これを機に、囲碁に触れてみてはいかがだろうか。

今回オススメするのは「囲碁であそぼ！」という入門者向けのアプリ。日本全国を旅しながら、基本のルールや石を取る問題、対局を中心にステージを進めながら、囲碁が打てるようになる構成だ。

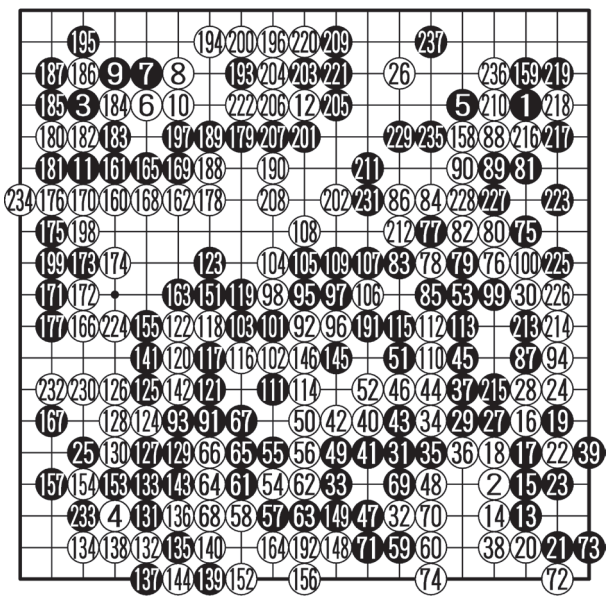
アプリ内に広告がなく、無料で始められるので、一度プレイしてみてください。

囲碁であそぼ！
iOS版

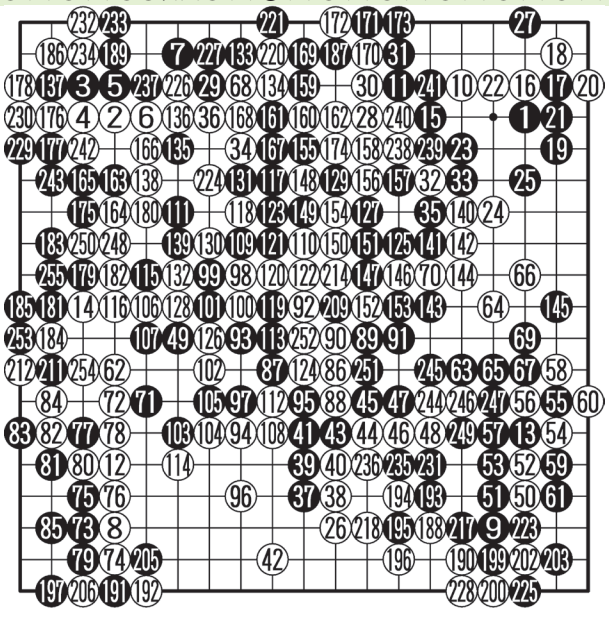
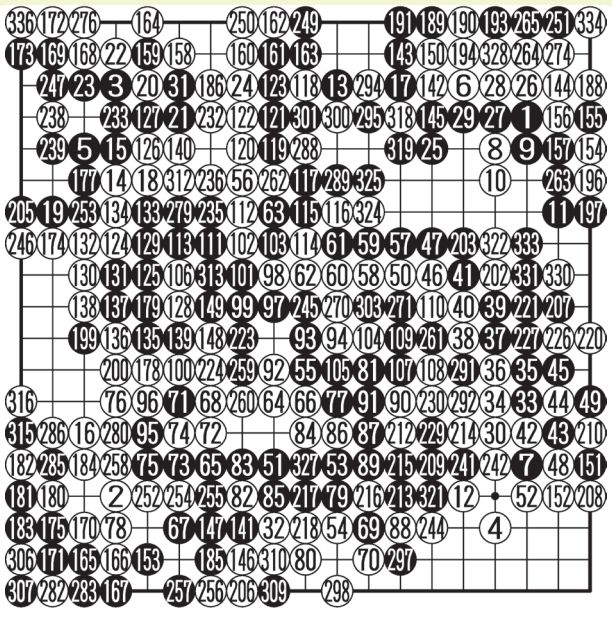
囲碁であそぼ！
アンドロイド版

「囲碁であそぼ！」のプレイ画面

〈第10回応氏杯世界選手権決勝五番勝負・第3局〉
黒　一力遼（日本）
白　謝　科（中国）
〈総譜3〉❶―㉗完、黒中押し勝ち
㊼（135）㊿（144）



〈第10回応氏杯世界選手権決勝五番勝負・第2局〉
黒　謝　科（中国）
白　一力遼（日本）
〈総譜2〉❶―㉟完、白9目勝ち
㊽（148）㊿（129）204 207各同208（191）210（148）213（129）215（152）216（148）219（129）222（148）



〈第10回応氏杯世界選手権決勝五番勝負・第1局〉
黒　一力遼（日本）
白　謝（しゃ）　科（か）（中国）
〈総譜1〉❶―㊲完、黒1目勝ち